

日本発ドイツ便り～ベルリン音楽の旅

少し前の話になりますが、2008年の夏が始まろうか、という時期、そろそろ年末年始、どこに行くか考えないと！と、年末年始のカレンダーをチェック。なんと！27日・28日の出発が可能ではないですか！そこで即刻行き先が決まりました。4年ぶりのベルリンです！

29日にベルリンにいること。これが重要なのです。なぜかといえば、Berliner Philharmoniker（ベルリーナー・フィルハーモニカー：ベルリンフィルと日本ではいいますね。）のSilvesterkonzert（ジルヴェスターコンツェルト：大晦日のコンサート）の初日が29日なのです。（あまり知られていませんが、3日間あります。31日大晦日のコンサートは日本でも夜中に生中継されています。）

早速飛行機とホテルを手配。気になるチケットは、なんと前売りが12月中旬ということで、それまでは聴けるのかどうかも分かりません。そして決戦の前売り日、丁度日曜日だったので、家中のPCをインターネットに繋ぎまくってがんばること約20分。やっと席が取れました！

なーんと、一番前の席です！音楽を聴くには極上の場所とはいえませんが、こんな機会めったにないので、もうご機嫌です。

ウィーンの歌劇場の前売りは窓口→電話→インターネットの順に開始なのですが、ベルリンはその反対でインターネット→電話→窓口という順番です。（だから取れたんですかね？）

前置きが長くなりましたが、久々のベルリンへ、音楽を聴きに行ってきました。



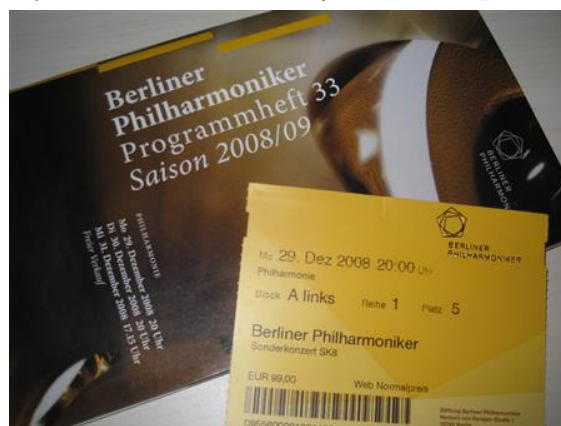
この黄色の建物がベルリンフィルの本拠地です！色もそうですが、テントみたいな不思議な形なので、以前は「カラヤンのサーカス小屋」と呼ばれたこともあったとか。中には大中2つのホールがあります。あ、空が明るいのは、先にチケットを引き取りに行ったからです。☺

夜8時の開演だったので、7時ごろ出発！



開演前のホールの様子。ここは完全にコンサートホールなので、舞台の後ろにも取り囲むように客席があります。もちろんオーケストラの正面の音がいいのですが、オーケストラの後ろの席も指揮者の動きが正面に見えて、オーケストラの一員になったみたいで結構面白いです。(値段も安いです。)そして、上の写真が私の席からの風景です！座席の前にすぐ見える通路をつかって指揮者やソリスト、オーケストラのメンバーが出入りするんですよ！

8時丁度にコンサート開始！今年はテーマが「アメリカ」でアメリカの作曲家による曲でした。もう最初から最後まで楽しくて楽しくて、1音たりとも聞き漏らさないよう、全身耳にして楽しみました。プログラムの演目が残り少なくなるともう寂しくて…。◎ 曲目などは省略しますが、神々しいウィーンの楽友協会ホールの音と比べるとベルリンの音はホール全体が一体になるようなもっと身近な感じ。やはり生で聴く音楽は、オーケストラの緊張感、音の振動まで伝わってくるような感じ。やっぱり音楽はできればホールで聴くべしだと思いました。



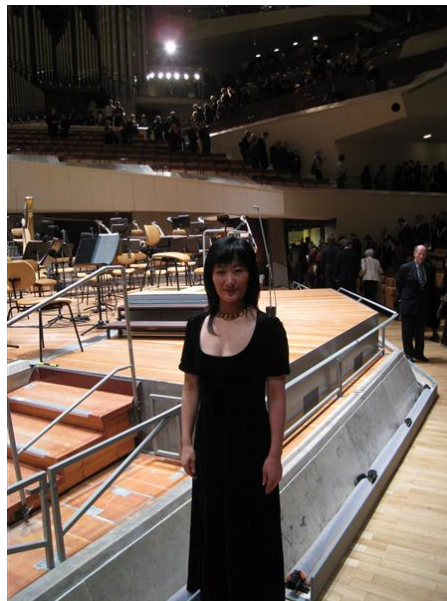
今回のチケットです。ベルリンフィルの演奏会、プログラムは無料でした。

ところで、ドイツ式拍手ってご存知ですか？いつも出るわけではないですが、ものすごく良かった時などに使うものです。手でももちろん盛大に拍手します。それに加え、(座ったまま)足で床を踏み鳴らします。(地団駄踏むではないです)こうやって全身で「素晴らしかった！」を表現し

ます。これを聞くと、「ああドイツだあ・・・」と妙に嬉しくなって、一緒にパチパチ・ドタドタ手足で拍手してきました。(ウィーンなどでは多分やらないほうがいいと思います。冷たい目で見られそうです。)もちろん Bravo などの掛け声はありますよ。スタンディングオベーションももちろんありますが、珍しいかな。



コンサートが終わって、まだ感動と興奮の残るホール。



記念に写真をとってもらいました。

ベルリンフィルと聞くと、敷居が高そうに思えますが、ジルヴェスターコンサートなど、特別なものを除けば意外とチケットは取りやすいです。(もちろん、「いい席じゃないとダメ」となると話は別です。)演目にあわせて旅行するのはなかなか難しいですが、もしうまく予定が合えば、出発前にちょっとチケット予約してみるのもいいですね。

うまくいったら、是非ドイツ式拍手、実践してきてくださいね！